観察者 実物を見たときと同等

高密度脳波計

fMRIなどの脳計測

神経美学的

アプローチ

スプレイと顔画像の解像

刊

観察者

+心理実験

図 神経美学と8K映像技術を組み合

つながる。

感性価値の理解、

向上に

研究を組み合わせること

「ありのままの顔」を再現し、「ありのまま」の脳反応を解析

8K解像度の顔画像

深層学習法/統計解析法

による客観的アプローチ

同等の

顔モデル

ありのままの顔・肌を計測・再現する技術

ラ化成 本感性工学会大会にて優秀発表賞を受賞

神経美学とは、認知神 経科学の新しい分野であ 0000 美・感性に影響する未知の顔・肌特徴の解明 り、美的体験の認知プロ

視環境とは大きく乖離し 程度にとどまり、実際の 顔の魅力を感じる認知 いることが課題だった。 の眼の解像度の1/10

と感じるのか、といった どういったものを美しい 究する学問。美しいもの といったアプローチで研 セスを脳計測や心理実験 感性についての研究は、 を見たときの脳機能や、 ハロダクトやサービスの 要なことから、高精細な 8 K映像技術を用いて構 築した視環境と神経美学 境でも再現することが必 の顔」を、実験上の視環 活で接する「ありのまま 解するためには、日常生 機構をありのまま深く理

の研究で用いてきたディ 顔画像を被験者が観察す る手法を用いるが、従来 ィスプレイ上に表示した 顔の認知研究では、デ るという。 ニズムの解明」につなが 「魅力を感じる認知メカ ることのできなかった 従来の研究では捉え

8 K映像技術を組み合わ 実際、神経美学研究と

度の組み合わせでは、 ヒ ことからさらに研究を進 とが解明され始めている せた研究からは新しいこ 明らかにできなかった魅 め、従来の研究手法では

脳機能や、魅力認知に関 行っていく。その研究成 わる顔・肌特徴の解明を 分自身をより魅力的に見 果を応用することで、自 うものに魅力をより感じ ングを導くような新たな やすくなりウェルビーイ 開拓や、日常生活で出会 プロダクトやサービスの

力の認知に関連している 粧 品塗布時の感情変化 せる新たなアプローチの 0 可視化で表彰 開発が期待される。

丸
株
は
す
す
ま
も
す
も
す
さ
お
う
の
素
ま
も
す
お
う
の
素
ま
す
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ
さ</li

より発酵技術を活用した 行い、機能性ベース水と 化粧品原料の研究開発を は、豊富な天然由来成分 案している。コメ発酵液 して「コメ発酵液」を提 同社では、2006年 原料で、安全性の科学的 るだけでなく、特別な心 を含み、肌に潤いを与え 地よい使用感を生み出す 添加物として承認されて な確認の下、 医薬部外



応を測定できる脳波計を 用いて、コメ発酵液ロー 昨年、脳波から感情反

の受賞に至った。 の結果が評価され、 も新規性のある手法とそ 確認された。化粧品原料 情が有意に高まることが ョンがなじんだ肌に触れ 結果、コメ発酵液ローシ する評価を行った。その 情の変化について数値化 ションを塗布した際の感 メーカーとして世界的に た時、「好き」という感

製品に授与される。一 歴史ある賞に位置づけら 回目となる化粧品業界で れ表彰される。今年で22 化粧品部門がありそれぞ 化粧品部門、ナチュラル 欧州の化粧品コンサルテ ィング会社BSB社が選 ion awardは、 化粧品原料と最終

M a k e p ar を開発している。 award Make-Up Ba bronze賞を受賞 今後も高品質な化粧品

r

awardの受賞は、

サステナビリティに対し 「世界中で関心の高い

ークアップのコンセプト 処方がブロンズ賞を受賞 く思う」(担当者)

乳化や分散において加熱

製剤を調製する際の

かいらない、エネルギー

EI-SEI-BI)]

受賞した「冷製美(R

SO16128) を実現

している。そのうち、メ

2024年(令和6年)5月20日

ロセス製法で作られたス 使用を抑えたコールドプ

キンケア・メークアップ

や分散剤などを同社の乳化剤 ドウ、メークアッ ェリーアイシャ た3つの製剤(ジ キー し、使用感に優れ ブブライマー、 ァンデーション) 原料に使用 REI-SEI-BI 令製

ステナブルな製法で製剤 のコンセプト処方で、サ

be a u ty

(9)

然由来指数97%以上

発想のみずみずしく心地

よいテクスチャーかつ自

用感にもこだわり開発し 示会をきっかけにお客様 た製剤であり、今回の展 貢献できるかを考え、使 チームとしてどのように に紹介できることを嬉し メークアップの処方 s m e t i c s G l o 2017年のin-co となる。 bal以来2度目の受賞

岐阜大学 耳

研

究講座を設

の提供を引き続き行って

援などのソリューション

じめ、化粧品処方開発支

原料の安定的な供給をは

との共同研究に 大学 長岡利氏 より、サケ白子 に含まれる成分 同社は、岐阜 るプロタミンペプチド

から折肥満効果を発揮す され、2023年に特許 を取得した。 の成果は科学雑誌に掲載 (RPR)を同定し、そ 「フォーデイズ核酸

置 酸とタンパク質、特にプ 共同研究を発展させ、 同研究講座」では、この ペプチド・タンパク質共 核

BSB Innov

学との共同研究講座設置 る研究を行っていく。 互作用に着目し、さらな ロタミンペプチドとの相 同研究講座「フォーデイ ズ次世代核酸研究講座 に続き2講座目となる。 東京農工大学との共